

## 中山町公共施設再配置計画 基本構想（素案）に対するご意見等について

### ▶ 住民説明会①

- ・日 時：令和8年2月4日（水） 午後7時～
- ・会 場：中央公民館 大ホール
- ・参加者数：2名
- ・ご意見等：なし

### ▶ 住民説明会②

- ・日 時：令和8年2月6日（金） 午後7時～
- ・会 場：保健福祉センター 研修室
- ・参加者数：0名
- ・ご意見等：なし

### ▶ 住民説明会③

- ・日 時：令和8年2月7日（土） 区長連絡協議会総会終了後～
- ・会 場：中央公民館 大ホール
- ・対 象：区長連絡協議会
- ・参加者数：57名
- ・ご意見等：なし

### ▶ 住民説明会④+なぜなぜ大会議成果報告会

- ・日 時：令和8年2月15日（日） 午前9時～
- ・会 場：中央公民館 大ホール
- ・参加者数：11名
- ・ご意見等：下記のとおり

#### 【成果報告会】

#### ご意見等①

- 全国的にショッピングセンターのフードコートが高校生のたまり場になり、儲からなくなることで閉鎖に繋がっていると聞く。営業妨害になるような風潮があるとすれば、中山町の高校生がフードコートに行かなくなれば、町の強みになるのではないかと。放課後の居場所として、学校を活用することは難しいのか。2教室くらい使って、1つは進学向け、1つはコミュニケーションの場としてはどうか。学童が足りないというが、この問題も学校の教室を活用すれば、人件費等が少なくて済むのではないかと。
- 大きい市の市民会館を使う際には、事前に一升瓶を持って挨拶に行かなければ、運営に支障をきたすということがあった。中山町ではそういうことはなかった。
- 地域おこし協力隊の活動が盛んな自治体では、偶発的な出会いと自発的な活動が盛んなのではないかと。
- なぜなぜ大会議等の中山町の取り組みは、先進的な取り組みなのではないかと思う。住民自治を先生がバックアップしてくれたらと思う。

【田澤先生】

- 町民インタビュー第10号の中山中学校生徒へのインタビューでも話が出ていたが、現状では難しいようだ。新しい空間をつくるというよりは、まだまだ活用できる既存施設があるので、運営をどうするかということを仕組みとして考えなければならないと感じた。個人的には、施設が活用されていないのはもったいないが、教育現場の負担を増やすのもどうなのかと思うと、地域の中に運営に携われる人材はいないのかと思っている。
- 一升瓶の話は、顔の見える関係の良いところかなと思って聞いていた。全てがそういうコミュニケーションになるのは難しいとは思いつつ、ルールに縛られすぎて、柔軟なやりとりが難しくなっている。コミュニケーションのやり方でもあるし、仕組みの作り方かなと思う。個人的には、行政側はもう少し住民を信用しても良いのではないかと。変な使い方をするような人はごく一部に過ぎない。ルールをつくることから住民に任せても良いのではないかと思う。
- ルールとして明文化されると面倒くさくなってしまいが、やわらかいルール作りみたいなところが、中山町には可能性があるのではないかと思う。大きい自治体になると、ルールを共有するというのが難しくなるが、1万人の規模だからこそ可能性があるのではないかと期待している。先進事例があるかという点、1つのコミュニティの中では、緩やかな繋がりづくりは生まれ始めているが、地区単位とか自治体の単位で成功させているところはなかなかないかなと思う。若妻会の話では、昔はプライバシーも何もなく、生活しにくかったが、今は下の世代に自分たちのような嫌な思いをさせたくない、すごく気を遣っている。これは、とてもいいことだと思う。お互いはっきり言葉にしないまでも、気遣いあって、コミュニケーションを図って、いい方向に社会を導いていくのに中山町は良い規模感なのではないかと思っている。
- 大会議でも、ざっくばらんな意見が出されたのかなと思うし、こういう場を続けてほしいと思う。空き教室を利用した方が良いのではないかという意見から何かが生まれそうな気がしている。それをいろんな属性の方と共有することでアイデアが膨らんで、実現に向かっていくというようなやり方が、ある意味中山町らしさなのかなと思うので、そういうまちづくりを期待している。行政が全て誘導するのではなく、町民目線も踏まえたまちづくりへの期待がこの規模感だからこそあるのではないかと思っている。

回答  
①

対応  
①

ご意見等による計画の修正なし。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">①意見等②</p>	<p>残念ながら都合によりなぜなぜ大会議には参加できなかったが、とても分かりやすくレポートにまとめられていた。その中で、町の課題がはっきり見えてきたと思った。再配置とは違う話かもしれないが、今回浮き彫りになった課題に対して、どのように取り組んで行くのか。再配置をするといったときに、来年再来年でできる話ではない。その間、浮き彫りになった課題は放置でいいのかといったら、そうではないと思う。</p> <p>子育て中の保護者たちの交流の場がない。外から入って来る方、Uターンで戻って来る方が多いが、だいたい引っ越してくるタイミングは子供が小学校に入るタイミング。その頃には保護者たちのコミュニティが出来上がっており、その中に入りづらいので、町に縁が無い方は、週末は実家に帰るとか、よくそんな話を聞く。例えば、施設なんて言うのは、なかやま保育園を土日開放して、ホールを自由に遊べるスペースにしたらどうかとか、そういうルールをちょっと変えてあげれば、改善できることはたくさんあるのかなと思って話を聞いていた。</p> <p>子どもがまだ小さいときに一度、子育て支援センターまでコミュニティバスに乗ったことがある。自宅がある達磨寺から支援センターがある柳沢まで1時間ちょっとかかった。わざわざこのバスを使っていく人はどれだけいるかなと思う。だったらもっと自由に動けるようなタクシーとかライドシェアとか、そういうものにお金かけた方が良いのではないか。行政の取り組みに町民から出た意見を活かして欲しいなと思う。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">回答②</p>	<p>【田澤先生】</p> <p>レポートでは自分たちでできること、行政に期待したいこと、公共施設に期待したいことに分けているが、優先順位というよりも、すぐできることと、中長期的に取り組むが必要なものという面でグラデーションが出てくると思う。取り組みやすいのは、自分たちでできる、手を伸ばせばできることかなと思う。コミュニティバスについては、なぜなぜ大会議に参加した高校生すらも乗り方がわからなかった。それを分かりやすく高校生がアレンジして発信すれば、乗りやすくなるかもしれない。そういうグラデーションをまずは見据えた上で、その後に優先順位の話かなと思っている。町民がやったらいいじゃないという話ではない。行政のサポートや仕組みづくりが重要で、個人的には、これだけやる気がある町民の意見や意思が見えたということを行政としてしっかり受け止めてほしいなと思っている。そのうえで、しっかりと町民主体の取り組みをサポートするという仕組みを作って支援してほしいと思っているし、行政にしかできないことは、今の部署だけではなく、全体で共有した上で優先順位を考えてほしいと思っている。</p> <p>【町】</p> <p>次の基本構想の説明の中で、いただいたご意見をどう活かしていくかというところもお話させていただく。町民の皆さんのご意見を反映いたします。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対応②</p>	<p>ご意見等による計画の修正なし。</p>

【住民説明会】

ご意見等 ③	<p>(1)平日日中に災害が起きた場合、成人人口にあたる世代の多くが町外に働きに出ているため、手薄になる。また、消防団員も減少傾向にあるとのことだが、安全性を確保するための対策として、何かしていることはあるか。</p> <p>(2)コンパクトシティの先進地である青森市や富山市でも、住民が郊外に移り住み、空洞化が進んでいると聞く。機能を集約して利便性を高めることと、その周辺が居住地として選ばれることは別問題であると思うが、どのように考えるか。</p>
回答 ③	<p>(1)災害時に自分で避難行動等について判断できるように、幼稚園・保育園の年長から中学校3年生まで切れ目なく防災教育を実施している。また、この防災教育を推進するために、幼稚園及び保育園の園長先生、町立小中学校の校長先生、教育委員会で防災教育推進協議会を組織しており、その活動の中で、異動のある先生方にも町の防災について学んでいただいている。各学校等において、緊急時の保護者との連絡方法を確保しており、災害時の引き渡しที่難しい場合も把握できるようになっている。どこかの学校の場所が危険であると判断された場合、学校間で連携し、他の学校に避難するということも検討している。そのような中で、新たな公共施設が果たす役割を考えていくことも本事業の意義であると考えている。</p> <p>(2)人口減少が進む中、市街化調整区域を積極的に市街化区域に変えていこうとするような動きは全国的にもほとんど見られない。また、当町では昔からある住宅地はこれまでも浸水を免れていることが多く、昔の人が住んでいなかった新たな住宅地は低い土地で浸水することが多い。そのため、安全性の高い既存住宅地内の空き家解体を進めて新しく住んでもらうなど、新陳代謝を促すことによりコンパクトなまちづくりが可能になると共に、立地適正化計画に基づくまちづくりで使える国の補助金なども活用できるようになる。コンパクトシティを形成するためには、都市機能の1つとなる公共施設の配置が重要となる。</p>
対応 ③	<p>ご意見等による計画の修正なし。</p>

▶ パブリックコメント

- ・日 時：令和8年2月1日（日）～28日（土）
- ・配布・閲覧場所：役場庁舎・中央公民館・ほんわ館・総合体育館・保健福祉センター  
・なかやま保育園
- ・ご意見等：下記のとおり

ご意見等 ④	<p>2月4日の住民説明会に参加し、お話をお聞きしました。 ありがとうございました。 担当の方々、お疲れ様でした。</p>
回答 ④	<p>このたびは住民説明会にご参加いただき、ありがとうございました。 引き続き、本事業に御協力を賜われますようお願いいたします。</p>
対応 ④	<p>ご意見等による計画の修正なし。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ご意見等 ⑤</p>	<p>素案 P37 石子沢川流域水害対策計画 雨水貯留浸透施設の整備について</p> <p>昨年、中央公民館において、石子沢川流域水害対策計画の説明会時、町役場の建て替えに合わせて近くに貯留設備計画があるとのことでした。新堀川と石子沢川では水量に格段の差があります。2か所に施設があれば良いのですが、予算的に難しいのであれば、石子沢川に作るべきと考えます。</p> <p>あおば3区には国交省堤内地雨水排水放流口があり、周辺は畑になっているため、適地と考えます。</p> <p>令和2年7月に床上浸水した14軒については、あらゆる手段を講じて再度浸水するようであれば、リスクの低いエリアへの集団移転等を考えても良いのではないのでしょうか。</p> <p>毎月6月から9月までの4か月間は雨降りが続くと、いつあふれるかと生きた心地がしません。これからも中山町に住み続けたいささやかな願いです。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">回答 ⑤</p>	<p>このたびの中山町公共施設再配置計画基本構想では、石子沢川流域水害対策計画の求めに対応し、新たに整備する公共施設に雨水貯留浸透施設を併設させることが、大雨による災害を減らす重要な機能であるとして、支川である石子沢川や新堀川などのそばで、水を引き込みやすい場所を候補地とすることを重視しております。</p> <p>ご意見いただきましたとおり、石子沢川流域水害対策においても、より効果的な候補地が選ばれるよう基本構想を策定いたします。</p> <p>なお、石子沢川流域水害対策計画の効果により、令和2年7月豪雨の氾濫ボリュームの雨量に対しましては、住宅に被害を及ぼすレベルでの浸水は生じない見込みです。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対応 ⑤</p>	<p>ご意見等による計画の修正なし。</p>